

令和元年度 住宅市場動向調査 ～調査結果の概要(抜粋)～

調査の概要

(1) 調査対象

平成30年度中(平成30年4月～平成31年3月)に住み替え・建て替え・リフォームを行った世帯を対象として、次に掲げる住宅の種類別に調査を行った。

	調査対象	調査地域	調査方法	調査票回収数
注文住宅	自分自身が居住する目的で建築した住宅に入居済みの人	全国	郵送調査	791
分譲住宅	新築の建て売り住宅または分譲を目的として建築された住宅を購入し、入居済みの人	三大都市圏	訪問留置調査	598
既存(中古)住宅	新築後に他の世帯が居住していた住宅を購入し、入居済みか手続きが済み次第入居予定の人	三大都市圏 その他の地域	訪問留置調査 郵送調査	1,088
民間賃貸住宅	個人や民間企業が賃貸する目的で建築した住宅(社宅などの給与住宅、公的住宅、学生アパートを除く)に入居した人	三大都市圏	訪問留置調査	593
リフォーム住宅	増築、改築、模様替えなどの工事を実施した住宅に住んでいる人	三大都市圏	訪問留置調査	598

※訪問留置調査: 調査員が対象を訪問して対面で調査票の記入を依頼し、後日再訪問して記入済み調査票を回収する調査方法

(2) 調査項目

住み替え・建て替え前後の住宅、その住宅に居住する世帯の状況、住宅取得等の資金調達の状況等

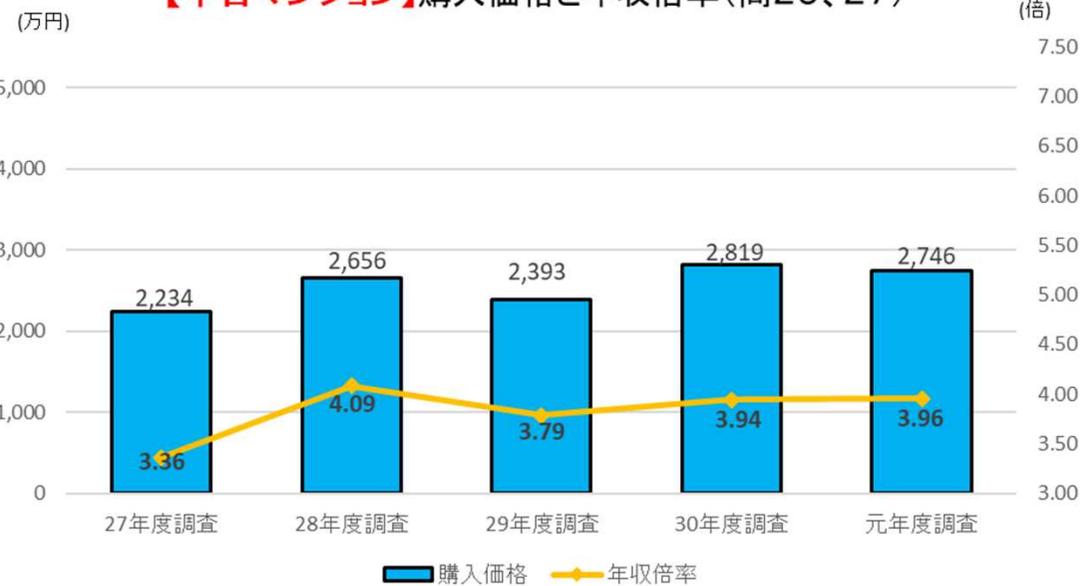
(参考1) 購入価格と年収倍率(三大都市圏)

- ・購入価格は、注文住宅を除き、昨年比ほぼ横ばい。
- ・マンションの購入価格は、新築、中古とも平成27年度調査と比べ1～2割程度上昇。

【分譲マンション】購入価格と年収倍率(問18、20)



【中古マンション】購入価格と年収倍率(問25、27)



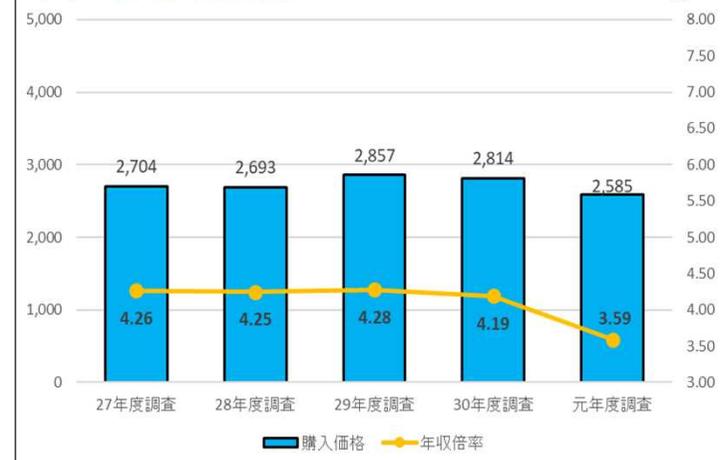
【注文住宅】購入価格と年収倍率(問18、20、21)



【分譲戸建住宅】購入価格と年収倍率(問18、20)

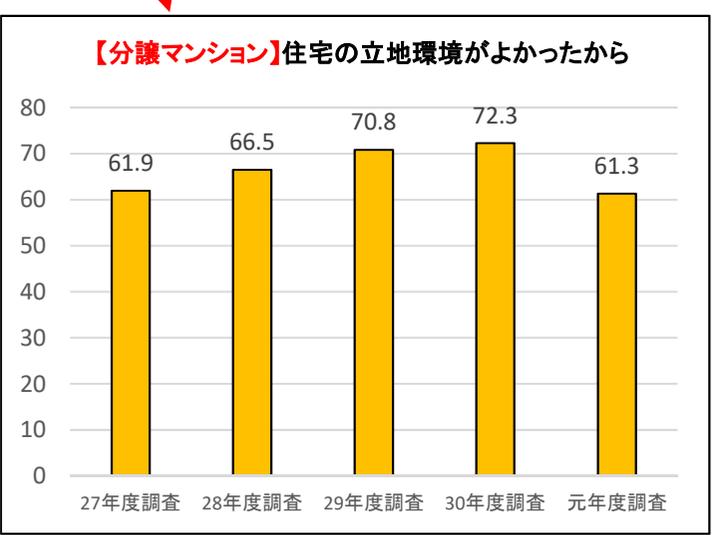
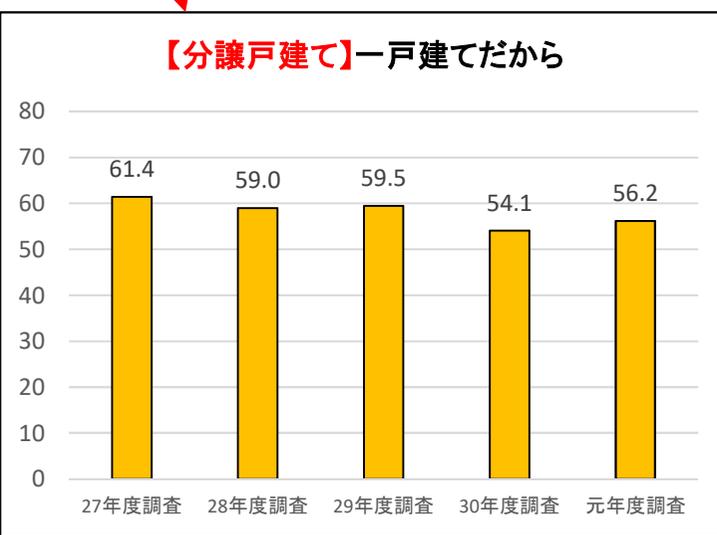
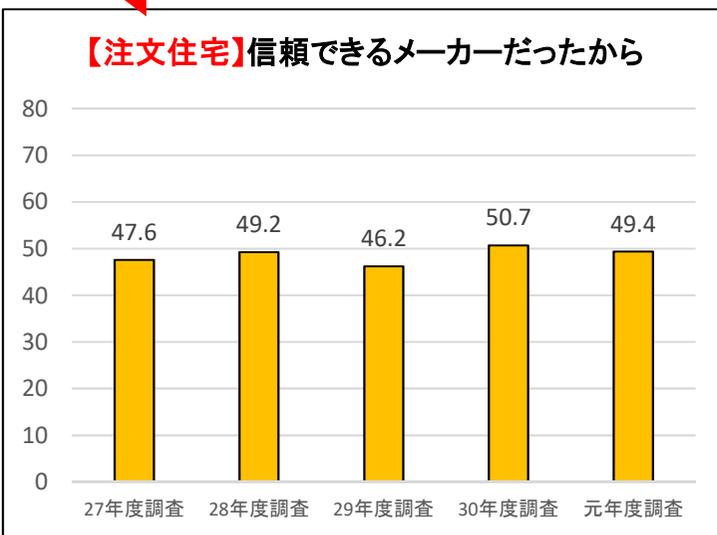
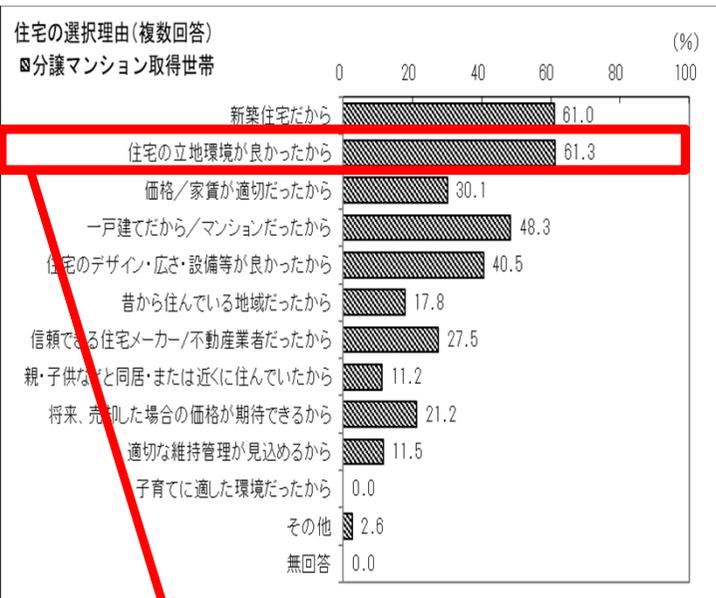
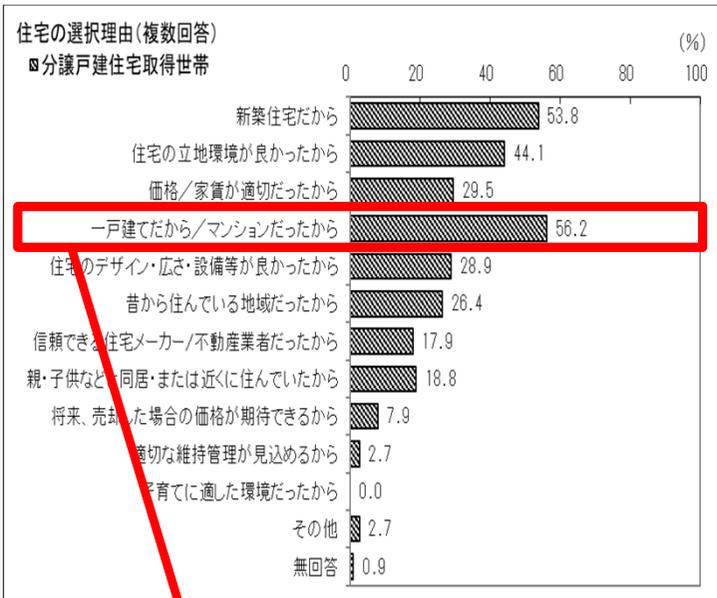
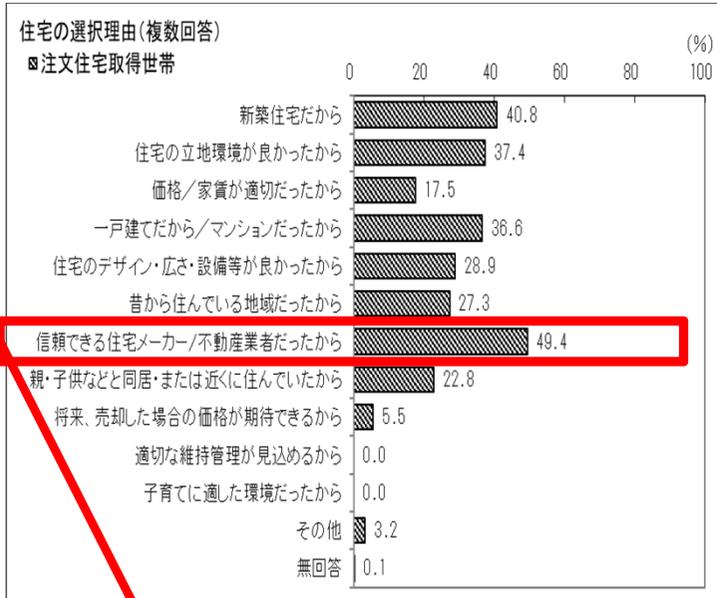


【中古戸建住宅】購入価格と年収倍率(問25、27)



(参考2-1) 住宅選択の理由(新築)

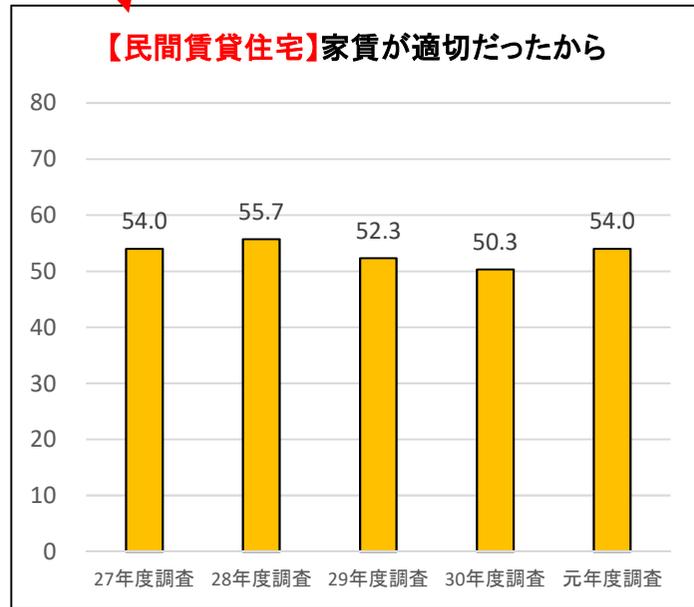
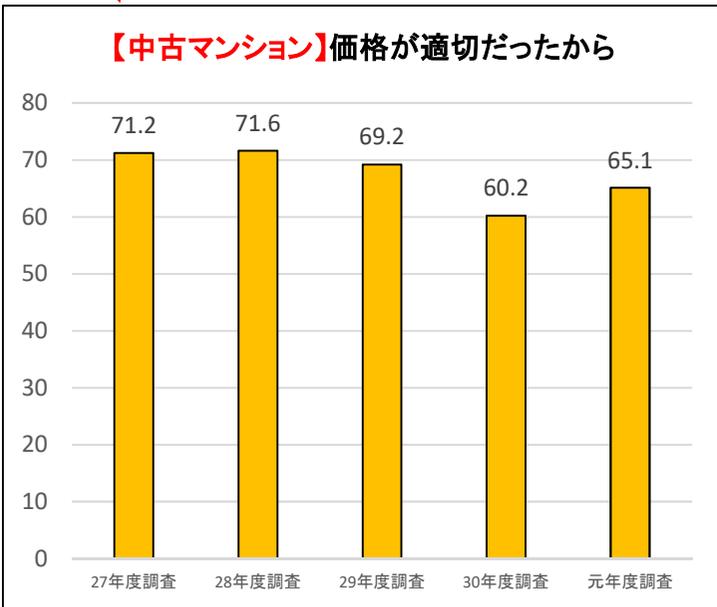
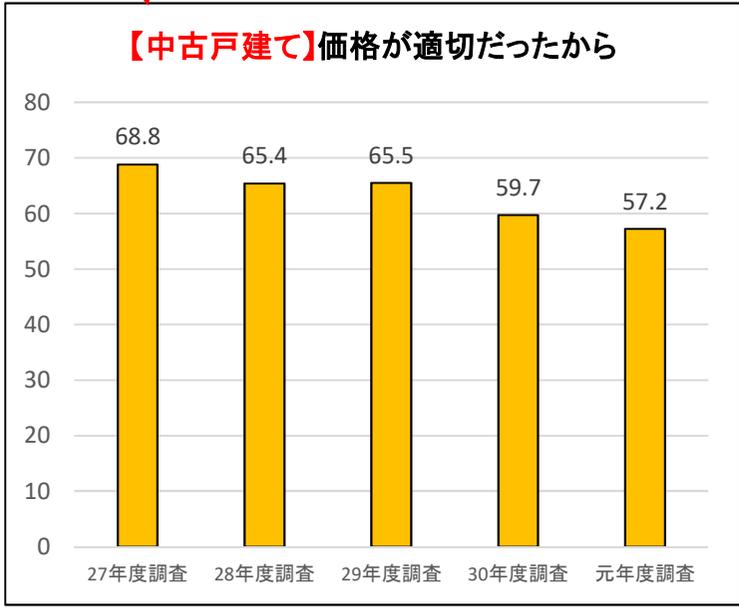
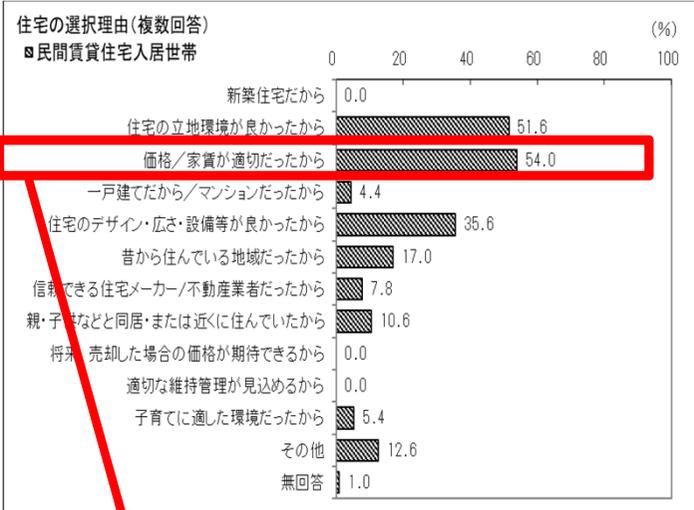
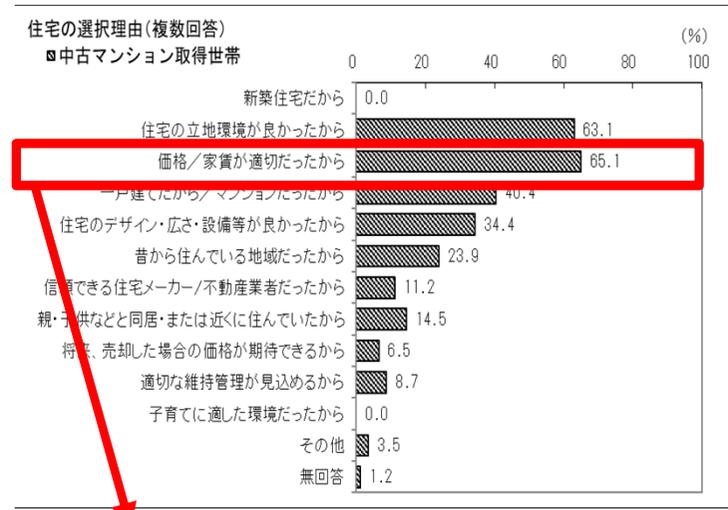
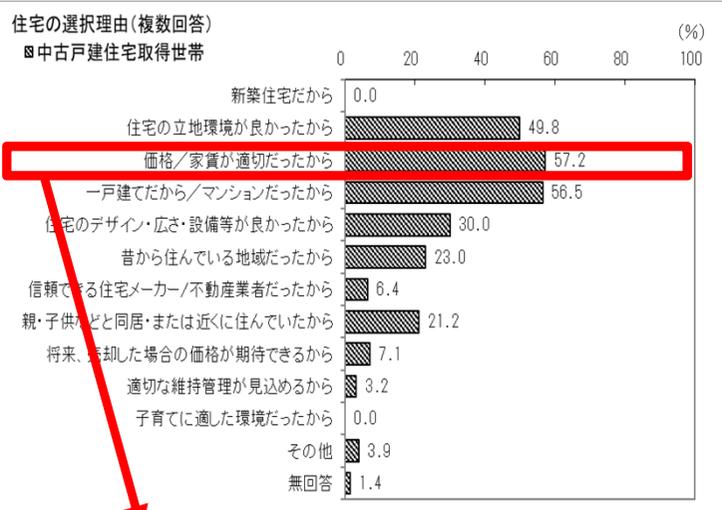
・住宅選択の理由について、分譲マンション取得世帯では、「住宅の立地環境がよかったから」は昨年度調査からは減少したものの、引き続き高水準で推移している。



※注文住宅は全国、その他住宅は三大都市圏

(参考2-2) 住宅選択の理由(中古・賃貸)

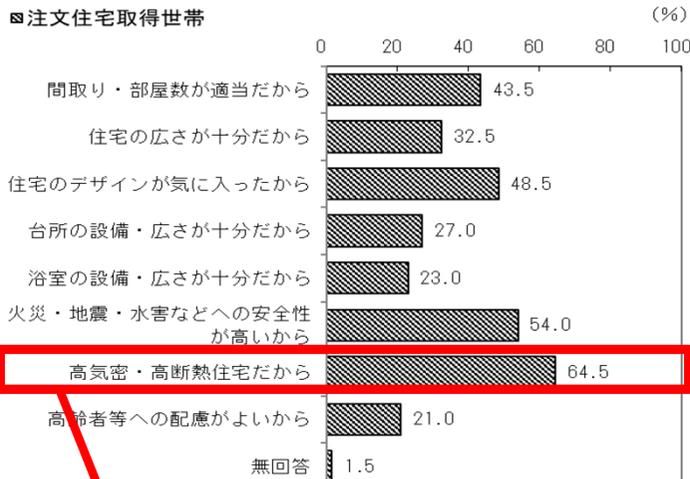
・住宅選択の理由について、中古住宅取得世帯では、「**価格が適切だったから**」を選択する割合が高い。



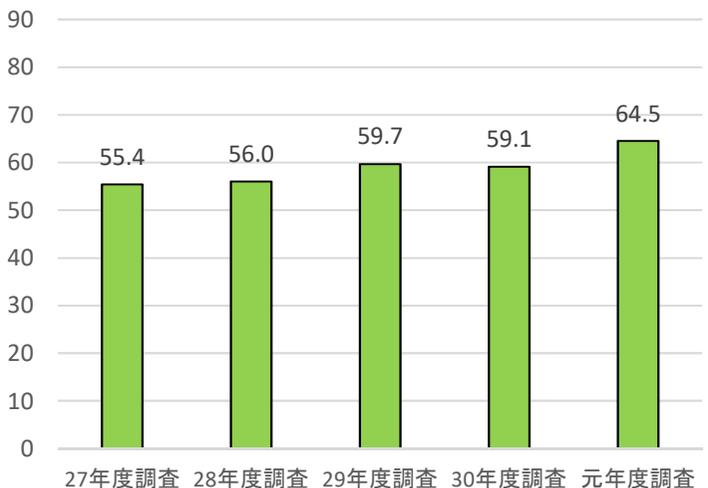
(参考3-1) 設備等に関する選択の理由(新築)

・設備等に関する選択理由について、注文住宅取得世帯では、「高気密・高断熱住宅だから」、分譲住宅取得世帯では、「間取り・部屋数が適当だから」を選択した割合が高い。

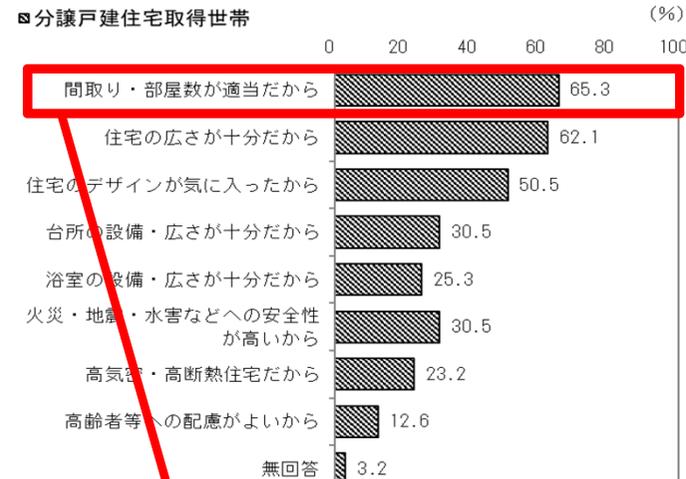
設備等に関する選択理由(複数回答)



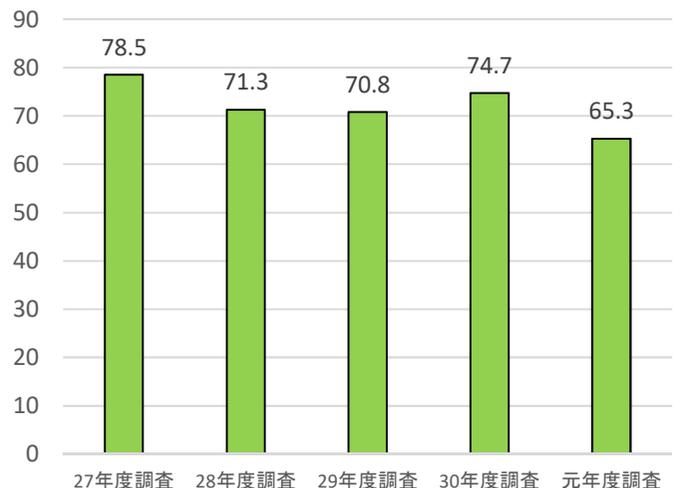
【注文住宅】高気密・高断熱だから



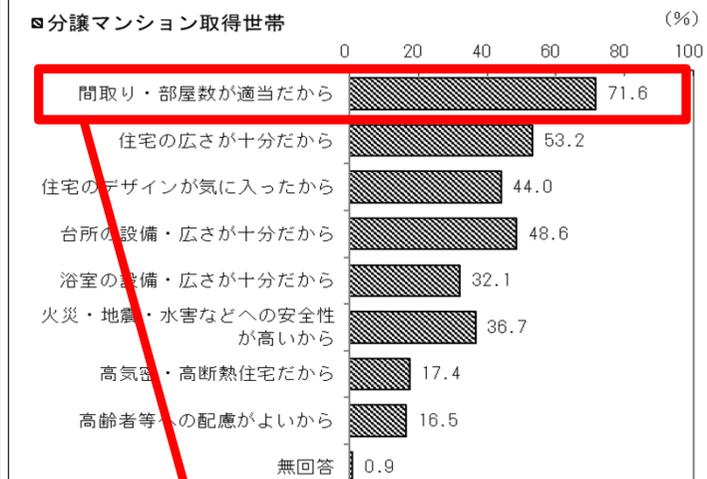
設備等に関する選択理由(複数回答)



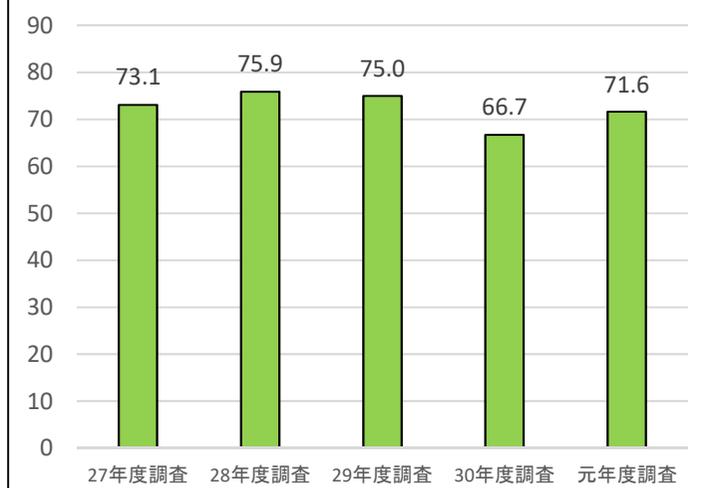
【分譲戸建】間取り・部屋数が適当だから



設備等に関する選択理由(複数回答)



【分譲マンション】間取り・部屋数が適当だから



※注文住宅は全国、その他住宅は三大都市圏

(参考3-2) 設備等に関する選択の理由(中古・賃貸)

・設備等に関する選択理由について、中古戸建取得世帯は、「住宅の広さが十分だから」、中古マンション取得世帯・賃貸住宅入居世帯は、「間取り・部屋数が適当だから」を選択した割合が高い。

